

ドセタキセル tri-weekly 療法

FN 低：催吐性 軽

診断名：非小細胞肺癌

○投与スケジュール（1 コース 21 日間）

Day1（点滴）：ドセタキセル（DOC） 60mg/m²

○注意事項

1、投与開始後15分間は、主治医あるいは看護師によるベッドサイドでの観察を行うこと。

2、予想される有害事象

◎骨髄抑制（白血球減少、好中球減少）

好中球減少は投与8～11日目に最低値（nadir）が認められる。投与後2週間程度は頻回に白血球数、好中球数、特に好中球数の観察を行うこと。

投与当日に好中球数2000未満の時、血小板10万未満、Hb11.0g/dl未満 → 回復するまで投与延期

◎好中球減少に発熱を伴い、感染症が疑われる場合は、グラム陰性桿菌、グラム陽性球菌及び真菌等の感染症を考慮に入れた適切な処置をすること。

CRP異常（上昇）、発熱、WBC異常増多など → 全ての異常が改善するまで投与延期

3、プレメディケーションについて

ドセタキセルの投与に際しては、過敏症ならびに浮腫等の有害事象の防止を目的にステロイド剤および抗ヒスタミン剤の前投与が推奨される。（但し、国内においての規定はない）

2019年9月2日より施行